

濱野周泰 監修

世界の 巨樹と 絶景の森

Giant Trees
and Superb Forest
of the World

Gakken

CONTENTS

MAP 世界の植物区系と樹木の分布 4

CHAPTER 1

北アメリカ・ヨーロッパ North America & Europe

セコイア・キングズキャニオン国立公園のセコイアデンドロン／アメリカ合衆国 8
エバーグレイズ国立公園のラクウショウ／アメリカ合衆国 12
セントラル・パークのアメリカニレ並木／アメリカ合衆国 16
ケラーヴァルト・エーダーゼー国立公園のヨーロッパパナ／ドイツ 18
シュヴァルトツヴァルトのオウシュウトウヒ／ドイツ 20
ダートムーア国立公園のヨーロッパナラ／イギリス 22
マデイラ島のゲッケイジュ／ポルトガル 24
エル・ティエンブロのヨーロッパグリ／スペイン 26
エルチェの椰子園のナツメヤシ／スペイン 28
ローマのイタリアカサマツ／イタリア 30
ザキントス島のオリーブの古木／ギリシャ 32
Column 世界の巨大植物 01 ベンケイチュウ 34

CHAPTER 2

日本・東アジア Japan & East Asia

実相寺の山高神代桜(エドヒガン)／日本 山梨県 38
白神山地のブナの原生林／日本 青森県・秋田県 40
函南原生林のアカガシ／日本 静岡県 42
上高地のカラマツ林／日本 長野県 44
屋久島のスギ原生林／日本 鹿児島県 46
あしかがフラワーパークの迫間のフジ／日本 栃木県 50
阿里山国家風景区のタイワンヒノキ／台湾 52
エジン(額済納)旗のコトカケヤナギ／中国 内モンゴル自治区 54
Column 世界の巨大植物 02 ヒカゲヘゴ 56

CHAPTER 3

東南アジア・南アジア・ポリネシア Southeast Asia & South Asia & Polynesia

ランピ島海洋国立公園のオオバヒルギ(ヤエヤマヒルギ)／ミャンマー 60
ピンダヤのインドボダイジュ／ミャンマー 64
ランブーン街道のグリュンバルサムノキ／タイ 66
フォンソン(香山)のキワタノキ／ベトナム 68

ダナン・バレー自然保護区のメンガリス／マレーシア 70
ペーラーデニヤ植物園のハウガンノキ／スリランカ 72
チェラプンジのインドゴムノキ／インド 74
プーンヒルのロドデンドロン・アルボレウム／ネパール 76
モアナルア・ガーデンのアメリカネム／アメリカ合衆国 ハワイ州 78
Column 世界の巨大植物 03 オオウキモ 80

CHAPTER 4

アフリカ・中東 Africa & Middle East

ナクル湖国立公園のキイロアカシア／ケニア 84
セレンゲティ国立公園のソーセージノキ／タンザニア 86
タランギレ国立公園のアフリカ・バオバブ／タンザニア 88
モロンダバのグランディディエリ・バオバブ／マダガスカル 90
プレトリアのジャカラダ並木／南アフリカ 94
ヴァレ・ド・メ自然保護区のおオミヤシ／セーシェル 96
ソコトラ島のリュウケツジュ／イエメン 98
カディーシャ渓谷のレバノンスギ／レバノン 102
Column 世界の巨大植物 04 木とも草ともつかない巨大植物 104

CHAPTER 5

オセアニア・中南米 Oceania & Latin America

ルーウィン・ナチュラリスト国立公園のカリ／オーストラリア 108
ラミントン国立公園のナンキョクブナ／オーストラリア 112
ダービーのオーストラリアバオバブ／オーストラリア 114
ワイボウア森林保護区のカウリ／ニュージーランド 116
モンテベルデ自然保護区の絞め殺しイチジク(フィカス・アウレア)／コスタリカ 118
ココラ渓谷のキンディオワックスヤシ／コロンビア 120
コンギジオ国立公園のアメリカウロコモミ／チリ 122
ヤスニ生物圏保護区のパイヤノキ(カポック)／エクアドル 124
パンタナル保全地域のパウダルコ／ブラジル 126

[扉写真]世界一高いヤシの木であるココラ渓谷(コロンビア)のキンディオワックスヤシ。
[カバー写真]表:マデイラ島(ポルトガル)のゲッケイジュの古木。
裏:モロンダバ(マダガスカル)のバオバブの並木道。



キングズキャニオン国立公園のセコイアデンドロンの原生林。下草が少なく、明るい森となっている。

山火事を利用して生きる 地球上で最も巨大な生命体の森



アメリカ合衆国

セコイア・キングズキャニオン 国立公園のセコイアデンドロン

Giant Sequoia (*Sequoiadendron giganteum*)

ヒノキ科 セコイアデンドロン属

シエラネバダ山脈にのみ自生するセコイアデンドロンは、樹高50~80mまで成長し、その体積は現存する植物のなかで最大を誇る。カリフォルニア州シエラネバダ山脈南部のセコイア・キングズキャニオン国立公園は、キングズキャニオン国立公園と、南に隣接するセコイア国立公園から成り、いずれもセコイアデンドロンの原生林で知られる。この地域では、数年~数十年おきに発生する自然火災がほかの樹木や余分な落ち葉などを焼き尽くし、種子の発芽に適した土壌の条件が整えられるのだ。





1997年の移植時には藤棚の面積は72㎡だったが、年々拡大し続け、現在は10倍以上になっている。

3本のフジの老木が織りなす 幻想的な薄紫の世界



日本 栃木県

あしかがフラワーパークの はさま 迫間のフジ

Japanese wisteria (*Wisteria floribunda*)

マメ科 フジ属

フジ属は北米と東アジアに分布するつる性の落葉樹で、日本には花序が長くなるフジ(ノダフジ)と、花序が短いヤマフジがある。古くから文学や芸術作品に登場し、日本人の姓を代表するひとつにもなるなど、日本文化と密接に結びついた植物だ。園芸では枝を藤棚に這わせて生育させる方法が一般的だが、栃木県あしかがフラワーパークの「迫間のフジ」と呼ばれる3本のフジは、藤棚が1000㎡にまで拡大し、日本一の面積を誇る。5月には合計16万本もの花序から花がいっせいに開き、息をのむ美しさを見せてくれる。



オアシスを黄金色に染める
砂漠に息づく「不死の森」



中国 内モンゴル自治区

エジン(額濟納)旗の コトカケヤナギ

Euphrates poplar (*Populus euphratica*)

ヤナギ科 ヤマナラシ属



内モンゴル自治区の西端に位置し、ゴビ砂漠が広がるアルシャー盟は、内モンゴルで最も人口が少なく、モンゴル人の遊牧民が暮らす地域である。この地で景勝地として近年注目を集めているのが、エジン(額濟納)旗にあるコトカケヤナギの大規模な群生地だ。コトカケヤナギは、中央アジア～北アフリカの乾燥地帯に分布するポプラの一種で、秋になると葉が美しい黄色に色づく。中国では胡楊と呼ばれ、長く生きることから「胡楊は生きて千年枯れず、枯れて千年倒れず、倒れて千年腐らず」ということわざもある。



エジン川に沿って広がるコトカケヤナギ林。川やオアシスの岸辺に生えることが多く、土壌の塩分に対しても耐性がある。



コトカケヤナギの樹高は最大15mまで成長し、幹や枝は曲がりくねって伸びる。成熟した樹木は、1本の木のなかに異なる形の葉を付け、樹冠上部にはのこぎり状の卵形の葉が、下部には細長い針形や三角形の葉を付ける。

長い年月を経て人と自然がつくり上げた
成長し続ける構造物



インド

チェラプンジの インドゴムノキ

Indian rubber tree (*Ficus elastica*)

クワ科 イチジク属



インド北東部、カシ丘陵の南に位置する都市チェラプンジは、世界的な多雨地域として知られており、深い峡谷や雄大な滝が点在する「秘境」ともいうべき土地だ。昔からこの地に暮らすカシ族の人々は、生きたインドゴムノキの根を利用して峡谷にいくつも橋を架けてきた。インドゴムノキは、茎や枝から多くの不定根を生やすボダイジュの仲間で、成長すると樹高30m、幹の直径は2mにもなる。人々はインドゴムノキの不定根を川の対岸まで少しずつ誘導し、10～15年がかりでこれらの橋を完成させた。この橋は強度に優れており、古いものは500年以上使われているという。



標高約2000mに位置するチェラプンジの景観。多量の雨で河川はたびたび増水する。



1本の木から2本の橋を生やしたインドゴムノキ。この木は今も成長を続けているため、橋の強度も年々増している。

【北アメリカ太平洋沿岸、ペルー〜チリ沿岸、南アフリカ、オセアニア】

オオウキモ Giant kelp

Macrocystis pyrifera コンブ科 オオウキモ属



長さ 60 m に達する世界最大の海藻

一般的には英名の「ジャイアントケルプ」として知られるオオウキモは、南北アメリカ大陸の太平洋沿岸をはじめ、オーストラリア南岸や南アフリカ南岸などに生育するコンブの仲間だ。その長さは50〜60mにもなり、現在確認されている海藻のなかでは世界最大を誇る。

根、茎、葉から成り、海底の岩などに根を付着させ、海面に向かって茎や葉を成長させていく。その速度は1日約50cmという驚くべきスピードで、海面に達した後も、海面上に広がるようにして伸び続ける。また、茎に付いた浮き袋によって、海底から直立して浮かぶことができる。

オオウキモの密生地では、「ケルプの森」と呼ばれる巨大な藻場が形成され、カニやウニ、魚類、アザラシなど、豊かな生態系が育まれている。なかでも、藻場から流されないようにオオウキモを体に巻き付けて眠るラッコの姿は有名だ。

そんな海洋生物たちの貴重な住みかであるオオウキモだが、近年はサプリメントなどの材料として乱獲が進んだほか、水質汚染や沿岸海域の埋め立て、地球温暖化による海水温の上昇などにより、アメリカ沿岸では急激にその数を減らしている。



巨大なオオウキモの密生地には、魚や貝類、アシカなど、さまざまな生き物たちが集まり、住みかや餌場として利用している。



[上] 深い森のように続くオオウキモの群生。[下] 葉の付け根の部分には、空気を含んだ丸い浮き袋が付いている。これによって体全体を水面に向けて伸ばし、太陽光をたっぷりと浴びることができる。[左右上] 海面のオオウキモにくるまって浮かぶラッコ。



「海藻」はどんな植物？

海藻とは、藻類（そうい）のなかでも、特に海中に生育する比較的大型のものを指す。海中に生え、花を付け種子により繁殖する顕花植物の「海草」とは異なり、花を付けず孢子によって繁殖するのが特徴だ。海藻は色の違いによって分類され、アオノリなどの「緑藻」、コンブやワカメなどの「褐藻」、アマノリやテングサなどの「紅藻」の3種類がある。一般的に、緑藻が浅い場所で、紅藻が最も深い場所で生育するといわれている。また、世界各地で食用とされるが、特に日本料理には欠かせない重要な食材となっている。

濱野 周泰 (はまの ちかやす)

1953年東京都生まれ。1997年生物環境調節学博士号取得。現在、東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授。日本学術会議連携会員。専門は造園植物および造園樹木学。日本造園学会関東支部副支部長、花と緑のまち三鷹創造協会理事長。主な著書に、『原寸図鑑 葉っぱでおぼえる樹木』(柏書房)、『大人の園芸 庭木・花木・果樹』(小学館)など多数、また監修に『週刊 日本の樹木』(全30巻、学習研究社)などがある。

世界の巨樹と絶景の森

2015年8月4日 第1刷発行

監修	濱野 周泰
発行人	鈴木 昌子
編集人	姥 智子
編集長	山本 尚幸
発行所	株式会社 学研パブリッシング 〒141-8412 東京都品川区西五反田 2-11-8
発売元	株式会社 学研マーケティング 〒141-8415 東京都品川区西五反田 2-11-8
印刷所	大日本印刷株式会社

編集協力	EDing Corporation
編集スタッフ	乙原 優子・谷 伸子
デザイン	乙原 優子
写真協力	Shutterstock Photo Library

この本に関する各種お問い合わせ先

【電話の場合】

- 編集内容については
Tel: 03-6431-1223(編集部直通)
- 在庫、不良品(落丁、乱丁)については
Tel: 03-6431-1201(販売部直通)

【文書の場合】

〒141-8418 東京都品川区西五反田2-11-8
学研お客様センター『世界の巨樹と絶景の森』係

【この本以外の学研商品に関するお問い合わせは】
03-6431-1002(学研お客様センター)

©Gakken Publishing 2015 Printed in Japan

- ・本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。
- ・本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。
- ・複写(コピー)をご希望の場合は、下記までご連絡ください。
日本複製権センター <http://www.jrrc.or.jp/>
E-mail: jrrc_info@jrrc.or.jp
Tel: 03-3401-2382
☑日本複製権センター委託出版物

- 学研の書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は下記をご覧ください
学研出版サイト <http://hon.gakken.jp/>